家計簿だより

2019年
9月号

発行日：2019年　8月 25日
発　行：エフコープ組合員活動部
〒811-2495　糟屋郡篠栗町大字篠栗 4826-1
TEL：092-947-9003　Fax：092-947-9192
ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ：　miyuki-shiraishi@fcoop.or.jp

相続に関するルールが大きく変わりました

2018年7月に「民法及び家事事件手続き法の一部を改正する法律」と「法務局における遺言書の保管等に関する法律」が成立しました。民法では、人が亡くなった場合に、その人（被相続人）の財産がどのように承継されるかなどについて基本的なルールが定められており、この部分は「相続法」と呼ばれています。この相続法は1980年に改正されて以来、大きな見直しはされていませんでした。けれど、平均寿命も延び、社会も変化していることから、相続法のルールが大きく見直しされました。2019年1月より段階的に施行されています。主な変更点は以下の通りです。

●2019年1月13日施行

自筆証書遺言を作成する場合には遺言書の全文を自書する必要がありましたが、改正により財産目録はパソコンで作成できるようになりました。ただし、遺言書の本文はこれまでどおり手書きで作成する必要があります。

●2019年7月1日施行

今までは相続人以外の人が被相続人に介護等を行った場合でも、相続財産を取得することはできませんでした。しかし相続開始後、相続人に対して、金銭の請求をすることができるようになりました。

●2020年4月1日施行

配偶者が相続開始時に被相続人所有の建物に住んでいた場合に、配偶者は遺産分割において「配偶者居住権」（新設）を取得することにより終身又は一定期間、その建物に無償で住むことができるようになります。

他にもさまざまな変更があり、場合によっては注意が必要です。詳しくは日本司法センター（法テラス）や最寄りの家庭裁判所、公証役場へお問い合わせください。

家計簿サークル員・家計レコによる提出は随時募集しています。上記へお問い合わせください。
「月の集計」は、毎月10日（家計レコは20日）を目安に提出してください。

2019年 6月度 集計結果

	20・30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	総合	前年比
調査世帯数	4	10	38	50	43	145	100.0%
世帯主平均年齢	35.8	44.5	55.6	64.3	76.9	63.6	101.3%
平均家族数	3.5	4.5	3.1	2.6	2.5	2.9	99.8%

（住宅概況）

	20・30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	総合	前年比
自　　宅	2	7	36	46	42	133	101.5%
社宅・官公舎	1	0	0	0	0	1	50.0%
賃貸住宅（公営）	0	0	0	3	1	4	100.0%
賃貸住宅（民間）	1	3	2	1	0	7	87.5%

（収　　入）

	実数	20・30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均	前年比
給　与（夫）	66	344,446	391,164	478,829	292,956	616,250	404,461	93.3%
給　与（妻）	26	252,015	269,900	296,188	302,478	500,000	298,359	121.1%
賞　与（夫）	16	0	1,300,217	1,494,372	427,704	0	1,057,968	94.5%
賞　与（妻）	6	632,233	226,600	971,400	323,125	0	682,693	106.4%
年　金（夫）	64	0	0	0	277,214	394,058	344,765	102.1%
年　金（妻）	69	0	0	205,883	149,782	192,629	176,247	108.2%
自家営業(夫)	9	0	0	270,000	134,263	123,333	160,783	43.2%
自家営業(妻)	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
家賃・地代収入	3	0	0	60,000	55,000	139,500	84,833	83.1%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ収入(夫)	7	0	0	65,000	116,462	77,414	92,375	119.4%
ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ収入(妻)	36	0	74,195	90,931	86,066	37,846	80,761	101.8%
同居家族の収入	23	0	40,000	38,000	72,890	53,500	57,131	111.5%
その他の収入	68	0	101,129	39,317	161,951	94,637	110,915	101.1%
収入合計	144	605,404	1,002,128	911,899	596,165	640,713	720,925	95.0%

（非消費支出）

	実数	20・30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均	前年比
所得税（夫）	89	7,273	56,153	68,807	16,012	15,342	36,687	88.1%
所得税（妻）	43	12,381	7,414	41,310	10,342	20,382	21,394	135.2%
住民税（夫）	100	15,900	25,560	28,700	18,575	15,405	21,407	80.8%
住民税（妻）	37	12,300	7,150	11,836	8,350	19,039	11,310	126.5%
固定資産税	15	0	71,450	19,300	15,015	29,050	25,839	102.0%
その他の税金	16	34,500	40,723	37,524	12,949	21,803	27,661	103.8%
税金合計	126	44,516	110,714	102,169	34,287	32,389	60,114	94.2%
健康保険（夫）	99	22,240	35,468	36,818	20,619	33,606	30,126	88.8%
健康保険（妻）	44	24,350	19,098	24,337	15,594	9,403	16,003	114.0%
介護保険（夫）	108	0	9,161	6,936	9,208	16,408	11,015	107.3%
介護保険（妻）	66	0	3,227	4,058	9,263	12,637	10,081	103.2%
厚生年金（夫）	60	32,940	79,046	71,372	40,138	0	60,711	87.1%
厚生年金（妻）	24	58,104	34,130	47,365	27,701	0	40,602	114.9%
雇用保険（夫）	46	1,420	2,421	2,576	1,384	0	2,207	87.5%
雇用保険（妻）	29	691	546	1,039	578	0	770	117.2%
国民年金(夫)	4	0	0	12,283	1,950	0	9,700	59.4%
国民年金(妻)	1	0	0	16,340	0	0	16,340	100.0%
国民年金(学生)	0	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!
社会保険料合計	137	89,756	128,892	119,105	52,028	47,356	75,457	92.0%
損害保険	59	7,881	64,115	10,714	7,818	11,816	13,094	98.4%
生命保険	121	74,034	64,428	28,310	17,547	12,409	24,284	60.6%
個人年金	24	6,650	24,410	24,849	33,616	0	26,181	111.0%
私的保険料合計	132	84,625	93,427	38,894	24,799	17,726	32,873	69.0%
その他の非消費支出	80	53,258	42,163	16,110	14,995	7,002	14,513	113.1%
非消費支出合計	144	189,898	349,898	261,801	109,324	89,496	162,585	87.0%

（消費支出）

	20･30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	平均	前年比
米･麦	549	1,720	2,424	1,702	2,258	2,025	88.5%
パン･めん･その他	2,507	3,708	3,771	3,180	3,136	3,292	107.3%
＜主　食＞	3,056	5,428	6,195	4,882	5,394	5,317	99.3%
魚介類	3,239	2,321	4,113	4,042	4,988	4,293	88.2%
肉類	10,436	7,242	6,815	5,558	5,976	6,155	99.8%
乳卵類	4,079	3,843	3,709	3,290	3,898	3,650	100.3%
豆･豆製品	1,468	1,445	1,132	1,436	1,709	1,485	92.8%
野菜	4,826	4,976	4,770	5,076	5,775	5,275	98.1%
乾物･海草	623	1,120	1,151	1,195	1,533	1,300	103.0%
加工食品	3,573	4,656	3,904	4,820	6,292	5,176	109.0%
調味料	5,844	2,715	2,335	2,811	2,969	2,840	106.0%
＜副食調味料＞	34,087	28,316	27,929	28,227	33,140	30,172	99.4%
菓子	9,072	5,008	3,604	3,375	3,527	3,694	109.8%
果物	75	753	1,588	1,737	2,726	1,991	106.6%
酒･飲料	9,075	5,437	6,755	5,355	6,234	6,032	108.5%
＜嗜好品＞	18,222	11,198	11,946	10,468	12,487	11,717	108.6%
給食	0	4,647	431	457	349	660	125.1%
外食	5,171	7,296	4,279	5,478	4,985	5,173	80.2%
＜外食関係＞	5,171	11,942	4,710	5,935	5,333	5,834	83.6%
食費合計	52,943	71,507	60,411	50,399	56,675	56,410	97.5%
家賃･地代	41,374	42,583	30,608	53,734	2,158	31,268	166.6%
その他の住居費	7,663	11,853	13,441	12,636	16,912	13,924	37.2%
＜住居費＞	49,037	54,436	44,048	66,370	19,070	45,192	80.4%
住宅ローン返済実平均	65,000	54,038	66,650	73,008	0	66,016	100.4%
ローン返済件数	1	4	11	6	0	22	100.0%
＜水光熱費＞	13,248	14,001	14,373	16,857	13,467	14,904	105.3%
＜被服費＞	13,219	17,556	12,660	6,987	8,716	9,887	64.8%
＜保健医療費＞	4,325	3,830	10,573	9,808	21,093	12,792	95.2%
＜理容衛生費＞	9,883	12,421	10,000	9,761	10,128	10,119	104.1%
＜交際費＞	34,704	8,982	26,228	31,836	20,669	25,558	136.7%
＜交通費＞	1,933	4,046	5,580	5,461	3,038	4,578	102.6%
＜通信費＞	12,194	20,279	19,824	14,398	11,061	15,175	99.9%
＜教育費＞	30,258	41,757	32,771	1,626	233	12,933	96.1%
教育費実平均	40,344	46,397	95,792	20,331	10,000	62,508	96.1%
＜教養娯楽費＞	3,297	16,029	26,860	116,535	20,177	54,403	284.0%
＜職業･主婦費＞	50,500	44,183	38,004	26,494	16,865	28,537	88.9%
＜自動車関係＞	13,468	14,591	28,535	45,161	11,706	27,900	128.2%
＜その他＞	201	1,976	-1,426	5,632	4,892	3,161	26.6%
食費以外の合計	236,266	254,087	268,031	356,926	161,113	265,140	108.0%
消費支出合計	289,208	325,594	328,441	407,325	217,789	321,550	106.2%
収入 － 支出	126,298	326,636	321,657	79,516	333,428	236,791	88.0%

＊『収入』と『非消費支出』は、実平均額（例：給与収入がある世帯の収入金額を、給与収入を記載された世帯数で割ったもの）、『消費支出』は総平均額（提出があった世帯数で割ったもの）の数値です。
＊『教育費』は総平均額と実平均額を掲載しています。
＊食費の内訳は、内訳を記入している人のみ（6 月は 97 人）の平均額です。

6 月度の動き

6 月は「給与」「賞与」「年金」等の収入があったため、全世代で「収入－支出」がプラスとなっています。また 「介護保険(夫)(妻)」とも 70 歳以上は 60 歳以上と比較して大幅増となっています。これは介護保険料が 65 歳以上と 65 歳未満で保険料が異なるためです。

■ 「交際費」は別世帯の子どもへの費用援助等もあったため、前年比 136.7%となっています。
■ 「教養娯楽費」は旅行費用等の支出のため、前年比 284.0%となっています。

6 月の集計と一緒によせられた“声”

いよいよ始まる消費税増税、そして近所に家電量販店がオープンしたこともあり、2 台目のエアコンを購入（ダンナの強い要望）。年々熱くなる夏に備えました。それと…突然追加徴税のお知らせが来てビックリ！！　私、働き過ぎたようです…。気を付けないと…。また、先日は家計簿サークルの交流会に参加。大先輩の皆さんの貴重なお話を伺えた素晴らしい時間でした。消費税増税に向け、大切な家計の把握。家計簿をつけ始めるなら、今！！今でしょ！！！

（42 歳、夫婦、乳幼児 1 人）

年金だけでは 2000 万円不足、老後生活に不安、という問題で賑わっていますが、まさに本当だと思います。今年から年金暮らしになり、夫婦で 300 万円くらい。そこから税金、国保、介護保険と、引かれる金額にびっくりです。今までは会社負担分があって助かっていたことが、身を持ってわかりました。家計簿をつけていたので、子どもの教育費や住宅ローンが終わって、共働きで 10 年間、老後資金を少し貯めることができました。これから健康第一でのんびり楽しみたいです。

（69 歳、夫婦）

日々、孫の生活パターンに振り回されています。今はぐっすり眠っています。大きな音を立てないよう、食器洗いも、掃除も後回しです。孫のオムツやミルクなど、こちらで必要な物はお祝いとして交際費に入れています。あと 1 ヶ月半、娘はこっち（実家）にいるそうで、しばらく光熱費や食費がアップです。　（60 歳、妻）

選挙が近づき、消費税の問題などを考えると、家計に優しいのはどの政党なのかと考えてしまいます。保育園に 2 人の子どもを通わせているのですが、10 月から保育無償化という流れが言われていますが、今回の選挙も含め、また突然制度が変わるのではないかとドキドキです。保育園に無償で預けられる（といっても、説明を聞くと、諸経費はもろもろかかるようですが）ことは有難いのですが、保育園の先生方の低賃金や待機児童の問題を考えると、まずそちらを優先的に解決してから無償化してもらえると有難いと思ってしまいます。

（39 歳、夫婦、乳幼児 2 人）

今月は大きな支出もなく平穏な月でした。年金生活者にとっては、予想してない支出が一番困ります。老後の予備費はそれなりに蓄えてはいますが、予想外のことが起きるかもと思いながら家計管理に気を付けています。（70 歳、夫婦）

クローバープラザ（県の施設）で永年プールを利用しています。現在『プールでフルマラソン』というキャンペーンがあり、42.195km をスイミングと水中歩行するというのに参加挑戦しています。今まで週に 1 回くらいのプール利用だったのですが、目的ができたせいで週に 2～3 回に回数が増え、水中歩行の距離も増やして頑張っています。目標の 42.195km を達成した暁には、体力がすごくついているのではないかと期待しています。

（92 歳、夫婦）

冷蔵庫の整理をしました。極力外食を控えました。おかげで食費がかなり抑えられましたが、家の中で食事を作っていると、何を作って良いのかわからなくなります。それを当たり前にこなしていた親世代を尊敬します。　（64 歳、夫婦）

今月は家族旅行に行き、特別支出が増えました。疲れましたが楽しかったのです。健康保険料が昨年より高くなっていてびっくり！！　間違い？！かと思いきや、税率が変わったとの書類を見て、がっかりでした。

（52 歳、夫婦、その他の子ども 2 人）

軽自動車を買い換えました。まだ 1 回目の車検が終わったばかりで、全然購入予定ではなかったのですが…。たまたま試乗したときに、夫がすごく気に入って、今注目の自動運転ができる車です。もし事故を起こすことを考えたら、数年後に出費するのを少し早めに使うと考えて、今購入しようと言い出しました。高齢者の事故が取りざたされているので、その対策として、少しでもリスクが少なくなるのであれば、と言われました。下取りを結構出してもらえたので、私も決心しました。20 年近く無事故なのですが…。自分の運転に自信があるほうではないので、「高齢女性の運転する…」ということのないように！

（66 歳、夫婦、その他の子ども 1 人）

次女の授業料（前期）の支払いがありました。国立でも高い～。とにかく教育費が家計を圧迫していますが、長女の就活が終了。来春からはちょっと一息つけそうです。しかし就活に掛かった交通費（教育費に計上）、合計するといくらになるやら。何とかならないのでしょうかね。

（52 歳、夫婦、高校生 1 人、大学生等 2 人）

今月は、別居する子どもの歯の矯正費用の援助【交際費】の支出が大きかったです。本当は学齢期に勧めていたのですが、歯並びが変わることで吹奏楽器の演奏への影響を考えていやがったのです。20 年ぶりに自らやると決めた様子、「自分でできる」と遠慮したのですが、援助することに決めました。子どもの通帳を一時預かってびっくり！　大学卒業して数年までは、収入をほとんど使ってしまい、急な結婚式の支出に困っていたので、経済観念を心配していたのですが…ほほう！　結構ためることができていました。やはり、家計簿サークル会員の子どもです。小金を貯めることができるのも親に似たのかな？と少しにんまりです。　（61 歳、夫婦）

5 月は夫の生命保険の年払いと自動車税、6 月は市税（健康保険・固定資産税）で大きな支出が集中しています。あとは年末に私の生命保険（年払い）と、家計簿サークルのおかげで数字の明確化、見える化（？）で助かっています。年金収入だけで老後の生活設計をする場合、今や 2000 万必要だとか。数字が独り歩きしています。賑わいましたね。身の丈ではないんですが、収入に応じた生活を今後もしてゆきたいと思います。

（75 歳、夫婦）

娘が住む宮城県石巻市へ夫と共に訪問。娘が大学 2 年生の時に東日本大震災が起き、当時東京に住んでいた娘が、毎週ボランティアで通っていた石巻に卒業後も就職希望といういきさつで、娘が石巻に住んでいる。飛行機チケットは息子からのプレゼント。独身娘のアパートで約 2 週間過ごし、いろいろな見聞ができた訪問となりました。8 年経つのに復興は道半ば。石巻在住の人々から貴重な話を聞け、意義のある旅となりました。

（71 歳、夫婦）

国民健康保険に移行。住民税と介護保険と、大きな支出となる。振り込みで支払っているので、その金額の大きさを実感する。　（68 歳、夫婦）

コープのエフセに入ったので、積立 60 万円をしました。積立金はどこに入れたら良いのでしょうか？　終活をしなければいけない年なので、少し安心できました。野菜類は少し値下がりしたようです。“人生 100 年”の時代ですね。もっともっと続けて家計簿をつけて頑張ろうと思っています。どうかよろしくお願いします。

（73 歳、夫婦、その他の子ども 1 人）

民法改正や消費税、また社会保障など暮らしに直結する変更がたくさん予定されています。しっかりチェックしていきたいですね。　白石